

事務事業評価シート

(H.29)No.	2202	(H.28)No.	2202
-----------	------	-----------	------

事務事業名	小規模保育事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	保育幼稚園室	山岡 尚子	

会計区分	事業コード	199302
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	地域型保育事業	
項 児童福祉費	(小事業名)	
目 保育所費	小規模保育事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施 策	3	子ども・子育て支援
重点プロジェクト	2.若者定住促進プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
待機児童問題が深刻化する中、多様な主体が多様なスペースを活用して質の高い保育を提供することにより、保育サービスの供給量を増やし待機児童の解消を目指す。
事業内容
商業施設や集合住宅の空きスペース、保育士の居宅等において0~2歳児の保育を行う小規模保育実施事業者に対し、扶助費を支弁する。また、国津保育所は業務委託及び施設管理を行う。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)		H.29年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	小規模保育事業所2か所に対して運営費を支弁した。 国津保育所は、公設民営方式により保育業務を学校法人に委託するとともに、給食業務等については市直営で実施した。 小規模保育事業所3か所入所児童数46人	4月に1か所、5月に1か所開園する小規模保育事業所を含めて4か所に対し運営費を支弁する。 国津保育所については、公設民営方式により保育業務を学校法人に委託するとともに、給食業務等については市直営で実施する。 小規模保育事業所5か所入所児童数79名	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
			国津保育所が待機児童の受入施設に移行 小規模保育事業所 5か所 入所児童数79人	小規模保育事業所 5か所 入所児童数79人	小規模保育事業所5か所 入所児童数79人

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		65,703千円		158,583千円	140,000千円	140,000千円	140,000千円
内訳(千円)	国・県支出金	47,424		110,700	110,700	110,700	110,700
	地方債						
	その他()	4,253		2,946	2,946	2,946	2,946
	一般財源	0	14,026	0	44,937	26,354	26,354
人工数	職員		0.35人		0.53人	0.53人	0.53人
	臨時職員等		0.00人		0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	2,625千円	0千円	3,975千円	3,975千円	3,975千円	3,975千円
①+②総事業費	0千円	68,328千円	0千円	162,558千円	143,975千円	143,975千円	143,975千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
子ども・子育て支援新制度が平成27年4月から施行され、待機児童対策の一つとして創設された小規模保育事業を推進し、保育ニーズの多い0~2歳児の受け入れを行った。育児休業明け等の年度途中の入所希望者の保育を実施することにより、女性の社会参加を促進し、子どもを安心して産み育てることができる取組として大いに貢献している。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
未だ待機児童は発生しており、十分な保育サービスを提供できていない状況である。ニーズ量を見極めながら、小規模保育事業や私立幼稚園の認定こども園化を推進し、待機児童の解消を図る。国津保育所については、児童数の減少から平成29年度末で閉園し、平成30年度より待機児童の受入施設とする。	ぱりっ子すくすく計画